

【は】

橋本 欣五郎 288
橋本 群 399, 420
橋本 以行 261, 264, 289
長谷川 清〔艦隊司令長官〕 8, 260, 262, 284, 288, 289, 405, 417
畑 俊六 403, 416, 420
羽田 武夫 160
浜崎 富蔵 225, 226, 316
浜園 忠夫 131
林 正明 169, 278, 333
原田 政右衛門 11
ハレック 315
馬 超俊 269
バ ッ ク 371
バルボ 14

【ひ】

肥後 大尉(歩23) 220
日高 信六郎 267, 393, 402, 405
ヒトラ ー 419
ヒューゲッセン 416
馮 聖法 50
平井 秋雄 157, 158, 159, 161, 264, 316
平本 渥 190, 279
広田 弘毅〔外相〕 290, 418
広田 豊〔中佐〕 401, 403

【ふ】

ファルケンハウゼン 6, 11, 13, 419
フ イ ッ チ 268, 276
フリッチュ 419
ブロンベルク 6, 419
深堀 遊亀 405, 405

福井 正勝 251
福井 領事 393
巫 剣雄 50
藤井 大尉(歩19) 116
藤田 清 134, 161
藤田 戦車隊 127
藤田 部隊(第三師団) 335
藤原 武 127
古北 光太郎 97

【へ】

ベ ー ツ 370, 371

【ほ】

星 善太郎 251
細見 惟雄 171
堀口 瑞典 406
本郷 忠夫 395, 402
本間 雅晴 401, 402, 419

【ま】

前川 参次 230
前田 音次郎 278
前田 吉彦 317
牧原 信夫〔日記〕 169, 321, 333
マ ギ ー 268, 279, 278, 300
益田 少尉(歩45) 225
増田 六助 167, 326
松井 石根〔大将・軍司令官・日記〕

3, 19, 20, 21, 23, 24, 26, 27, 67, 68, 69, 72, 147, 148, 163, 247, 269, 284, 285, 286, 289, 338, 340, 395, 396, 400, 403, 404, 405, 407, 408, 411, 418, 420

松岡 政人 134
松川 晴策 201, 203
松本 重治 286, 404, 406, 407, 408, 409
的場 隊(歩7) 197

【み】

三明保 真 218
水谷 莊〔日記〕 198, 329
溝口 元悟 137
三竝 貞三 8
宮本 四郎 168, 387

【む】

六車 政治郎 97
ムッソリーニ 14
武藤 章〔参謀副長〕 5, 19, 148
村岡 実 194
村上 独潭 375

【も】

毛 沢 東 421
森 王 琢 97
守田 省吾 222
森 英生 169, 321
森 吾六 250
諸岡 安一 259
両角 業作 81

【や】

安川 定義 114, 179
泰山 弘道 266, 289, 340
柳川 平助〔中將・司令官〕 9, 17, 67, 218, 247, 284, 383, 395, 420

山際 喜一 176
山崎 正男 219, 258, 284, 286, 290
山田 梅二〔支隊〕 75, 80, 81, 231, 260, 302, 322, 323, 324, 325

山本 五十六 290
山本 隼人 226
山本 聯隊長(歩150) 209

【ゆ】

俞 濟時 50

【よ】

揚 雲竹 419
姚 中英 139
葉 肇 50
吉住 良輔 103

【ら】

ラ ー ベ 268, 276
羅 卓英 49

【り】

李 江 50
リトビノフ 421
李 副長(57師) 139
劉 啓雄 377
劉 興 49
劉 四海 317
劉 斐 140, 149
梁 鴻志 420

【わ】

脇坂 次郎〔部隊〕 75, 107, 177

朱 赤 139
首 藤 中 尉 (歩47) 135
祥 雲 伍 長 (歩47) 219
蔣 介 石 4, 45, 49, 51, 140, 149,
273, 293, 302, 416, 418,
419, 420, 421
蔣 公 穀 278, 355
庄 野 欧 一 255
邵 百 昌 51
白 川 寿 視 115
ジャキノ ー 267
城 島 赴 夫 [大尉] 99, 147, 187, 192,
194
徐 繼 武 49
徐 源 泉 49
ジョンソン 388, 417

【す】

末 松 茂 治 118
菅 原 梅 吉 112
杉 山 陸 相 419
鈴 木 茂 183
鈴 木 宗 作 403
スマイス 268, 269, 367, 368, 369,
370, 373, 374
住 谷 磐 根 265, 330
澄 田 政 夫 257, 320
角 良 晴 162, 338

【せ】

関 口 鉦 造 264, 265
関根 保右衛門 28, 42
ゼ ー ク ト 11, 13
瀬 戸 大 尉 (16師団) 387
銭 大 均 61
専 田 盛 寿 386

【そ】

宋 希 濂 50
曾 国 荃 36
宋 慧 敏 378
宋 美 齡 273
孫 元 良 50
孫 文 49, 72

【た】

田 岡 良 一 296, 312, 314
高 田 利 種 290
高 橋 義 彦 225, 228
高 松 半 市 215, 314
鷹 森 部 隊 (歩68) 75, 206
武 田 丈 夫 175
竹田宮 恒徳王 4
多 田 駿 [中将・参謀次長] 17, 18,
19, 20

立 作 太 郎 312
辰 巳 栄 一 11
館野 軍医中尉 (歩66) 215
田 中 軍 吉 225
田 中 新 一 5
田 名 綱 伍 長 (歩66) 211
谷 田 勇 165, 385
谷 寿 夫 126, 217, 228, 305
田 上 八 郎 6
ダーディン 48, 140, 235, 271, 273,
275, 297, 300, 303, 327,
347, 348, 365, 366, 368
譚 遼 50

【ち】

値 賀 忠 治 8
長 勇 [参謀] 163, 325
張 治 中 51

陳 群 420
陳 頤 鼎 271
沈 尧 藥 50

【つ】

塚 田 攻 [参謀長] 19, 20, 69, 398,
418, 420
塚 本 浩 次 395
辻 四五郎 318
土 井 晚 翠 289
土 屋 正 治 6, 177
堤 千 里 158, 316, 334

【て】

ディルクセン 417, 418
ティンバーリー 269
丁 治 盤 49
手 塚 清 215
寺 内 大 将 (北支方面軍) 399
寺 崎 隆 治 160, 264
寺 田 富 吉 (歩36) 110
寺 田 与之助 368

【と】

董 道 寧 420
唐 生 智 45, 46, 49, 139, 140, 148,
235, 273, 274, 277, 302,
356
陶 宝 金 384
鄧 竜 光 50
十 時 和 彦 219
富 崎 熊 雄 317
富 田 龍太郎 169, 321, 333
トラウトマン 18, 49, 417, 419
土 居 初太郎 320
ド ー エ 8, 14

堂ノ脇 光 雄 126
土橋 第四中隊 (野重15) 177

【な】

中 川 泰 秀 26
中 沢 三 夫 97, 141, 163, 167, 269,
301, 310, 346, 347, 387,
391
中 島 今朝吾 [中将・師団長] 82, 166,
301, 319, 333, 337, 341,
344, 419
中 島 典 雄 334
中 津 留 伍 長 (歩47) 218, 219
中 村 進 134
中 山 寧 人 69, 148, 285, 394, 396
永 津 佐比重 5
永 見 保 治 112
永 山 喜 一 241, 316
永 山 力 127
成 友 藤 夫 225, 316

【に】

西 浦 節 三 164
西 沢 弁 吉 215
西 島 剛 180
西 義 章 289, 290
二 宮 義 清 [参謀] 6, 11, 22
鈕 先 銘 274, 275

【ぬ】

額 田 担 375

【の】

野 田 耕 夫 112
野 村 敏 則 113

岩波茂雄 289
岩間少尉(歩45) 230

【う】

上村利道[日記] 279, 284, 285,
286, 402, 411
鵜飼敏定 10, 213, 225, 226, 316,
377
牛島満[旅団・先遣隊] 76, 126,
129, 130, 137, 217, 219,
220, 222
内田義直 387
宇都宮直賢 11, 403
梅津次官 416
浦野清治郎 218

【え】

易安華 139
江島虎雄 218
エスピー 347, 384, 388
榎勝春 194

【お】

王啓久 50
汪兆銘(精衛) 377, 416, 421
王耀武 50
大川内伝七[陸戦隊司令官] 262, 284
大杉浩 206
大園庄蔵 227, 228
大谷光照 195
大西一 5, 377
大野部隊 99
大橋(歩36) 110
大山勇夫 3, 416
岡田嵯一 183
岡田重一 378

岡田尚 148
岡田西次 27, 376
小笠原勝国 183
緒方敬志 218
荻洲部隊[第13師団] 323
荻平昌之 134
奥少将[旅団] 118
尾崎秀実 13
小原重孝 225
折小野末太郎[日記] 137, 231
折田護 330
温宗堯 420

【か】

何応欽 51, 298
郭岐 274, 275
霍守義 50
角田栄一 80
影佐禎昭 19, 420
樫木義雄 177
梶浦俊彦 225
片山正太郎 112
何知重 50
加藤正吉 251, 321
金丸吉生 344, 377
金田高秋[大尉] 136, 137
川越大使 285, 405, 420
川島大尉(騎3) 251
河辺虎四郎[作戦課長] 18, 19, 400,
413
河村弁治 27
閑院宮載仁親王 394, 399

【き】

キーナン 148
木佐木久 386

木村正世 251
許伝音 276, 328
許世英 419

【く】

草場軍曹(戦車1) 194
草場辰巳[支隊] 82, 83
国崎登[少将・支隊] 62, 68, 69,
76, 234, 241, 243, 248,
316, 334, 335, 340, 378
倉迫准尉(歩47) 135
クレギー 290
グルー 8, 290, 401

【け】

桂永清 50, 51, 52

【こ】

高致嵩 139
谷正倫 51
小坂工兵大尉(工9) 175
児玉義雄 341
近衛首相 419
駒沢貞安 136
児森(高樋)少佐(歩150) 209
小山中佐(憲兵) 395
小山弘健 14
近藤英次郎[戦隊司令官] 69, 259,
260, 262, 284
近藤俊清 222
近藤正信 116
後藤光蔵 248

【さ】

西郷従吾 13
斎藤一等水兵 416

斎藤良衛 69
坂井徳太郎 130, 134
榊原主計 321, 322, 323, 366, 376,
401
坂清 167
佐々木到一[支隊・手記] 62, 69, 75,
82, 83, 87, 153, 154, 158,
234, 254, 295, 301, 314,
319, 327, 331, 333, 334,
341, 362, 384, 386, 387,
394, 418
佐々木孟久 177
佐々木元勝 162, 168, 279, 320, 321,
330
佐々木六郎 375
佐藤賢了 420
佐藤質 27
佐分利隊(歩7) 197
沢田正久 254
サンドリ 289

【し】

重藤支隊 4, 416, 417
司徒非 139
品川大尉(戦車5) 211
篠原武司 27
信夫淳夫 313, 315, 316
柴山兼四郎 19, 290
渋谷大尉(歩66) 212
島田勝巳 160, 163
清水貞信 112
下野一霍 147
下村定[少将・作戦部長] 4, 9,
18, 19, 20, 416, 419
周仏海 377
肅山令 51, 139

『南京戦史』 人名索引

1. 中国人は姓名を日本風の音読し、第三国人は姓をカタカナで五十音順に配列した。
2. [] 内は階級・部隊・役職・日記の存在を示す。
3. 姓と階級・役職のみしか記載されてない場合、() 内に所属を補足した。

【あ】

青木 喬	150	250, 256, 285, 286, 319,
青柳 由郎	98	320, 323, 325, 340, 346,
秋永 力	126	347, 362, 384, 387, 393,
秋山 充三郎 [少将・旅団] (114D)		394, 395, 396, 401, 408
	118, 121, 210	池田 早苗 169, 321, 333
秋山 義兌 [旅団・支隊] (9D)	75,	伊佐 一男 [聯隊長・日記] 192, 195,
	103, 106, 171, 185, 195	196, 327, 329, 330
朝香宮 鳩彦王 [司令官]	67, 176, 195,	諫山 春樹 401
	284, 395, 405, 411, 418,	石射 猪太郎 402
	420	石原 莞爾 [少将・第一部長] 3, 9,
阿南 惟幾	294, 401, 402, 418	19, 416
阿部 輝郎	323	石松 政敏 13, 164, 201
安部 康彦	222	一刈第一大隊長 (歩66) 215
天谷 直次郎 [支隊]	4, 68, 234, 259,	井出 宣時 [旅団] 75, 106, 171
	384, 389, 390, 391, 416	伊藤 範治 13
新井 敏治	161	伊藤 芳男 420
荒尾 興功	401	伊藤 義光 [大隊長] 176
有末 次	20	稲田 正純 401
アリソン	388, 402, 419	犬飼 総一郎 321, 334
有馬 参謀 (海軍)	290	井家 又一 [日記] 197, 329
安東 軍曹 (歩47)	218	井ノ上 少尉 [歩47] 219

【い】

飯沼 守 [少将・参謀長・日記] (上海派遣軍)	3, 27, 205,	井本 熊男 [作戦課員] 5, 11, 19
		岩 仲 義治 [戦車隊] 99, 147

あとがき

高橋 登志郎

南京戦の正しい姿を再現しよう、そして定本として後世に残そうと、編集作業を発足してから四年有半、漸くにして「南京戦史」が完成する。責任者として正直言つてやれやれという気持ちで一杯である。

いま膨大な校了ゲラを見ながら、頭の中に去来するさまざまな感懐のうち、その一端を述べてあとがきとしたい。

一、賛否の声

『偕行』誌に定本刊行のことを発表してから賛成激励の声も多々あったが、反対あるいは慎重の声も少なくなかった。その賛否の声は今日に至ってもなお続いている。

しかし反対者の意見は常に謙虚に聞かねばならない。反対あるいは慎重の声の論点を要約すると次の五点であった。

- (1) 編集委員会は何を根拠に捕虜の処断の総てを不法と断定できるのか
- (2) 仮にできるとしても何故出版しなければならないのか
- (3) 確定できない数字を何故発表するのか
- (4) 光輝ある皇軍に泥を塗るのか
- (5) 中国国民に詫びるとは何事か

本書は学術的な戦史書を目指している。我々編集陣には本書に於て(5)の中国々民に詫びるといふような政治的な意